

かいけんそし だいけつせん とつにゅう  
改憲阻止の大決戦に突入

きょうぼうざい ふんさい あべ かんごく こくてつとうそう こくさいれんたい はってん  
共謀罪を粉碎し安倍を監獄へ 国鉄闘争と国際連帯の発展を

おおさか ほしのどうし だっかん  
大坂・星野同志を奪還しよう

きたじまくにひここうほ せんとう ちゅうかくは ま こう とうじょう たたか とうきょうと  
北島邦彦候補を先頭に 中核派として真っ向から登場して闘いぬいた東京都  
ぎせんけつせん ろうどうしゃじんみん あべせいけん つ つか いか と はな きよだい  
議選決戦は、労働者人民の安倍政権への積もりに積もった怒りを解き放つ巨大な  
とつぱこう ひら たたか あきはばら あべてついだんがい たいしゅうけつき  
突破口を開きました。この闘いは、7・1秋葉原での安倍徹底弾劾の大衆決起  
うだ じみんとう だいざんぱい きょうせい こんでいてき ちから  
を生み出すとともに、自民党に大惨敗を強制する根底的な力となりました。こ  
ちから ねん かいけんそし だいけつせん ただ とつにゅう せんそう かいけん  
の力をもって 17~18 年、改憲阻止の大決戦に直ちに突入しよう。戦争・改憲  
こうげき いつさい とっしん あべ かくめい う たお がつ  
攻撃に一切をかけて突進する安倍をゼネスト — 革命で打ち倒そう。7~8月を  
あべ かんごく あつ なつ たたか  
「安倍を監獄へ！」の熱い夏として闘おう。

せんそう かくめい と けつせん  
「戦争か革命か」問う決戦

あべ かんごく いま ち そこ わ あ じだい こえ  
「安倍を監獄へ！」は今や地の底から湧き上がる時代の声となりました。しか  
あべ じみんとう てつつい くだ たたか はじ  
し安倍・自民党に鉄槌（てつつい）を下す闘いは始まったばかりです。  
お あべ と ぎせんよくじつ あき りんじこっかい かいけんあん ていしゅつ ほうしん か  
追いつめられた安倍は都議選翌日、秋の臨時国会に改憲案を提出する方針は変  
めいげん あべ らいねんまつ しゅうぎいんぎいん にんきぎ ひか かい  
わらないと明言しました。安倍は来年末の衆議院議員の任期切れを控え、「改  
けんせいりょく ぶん こっかい いじ あいだ かいけんあん ていしゅつ はつぎ  
憲勢力 3 分の 2」が国会で維持されている間に改憲案を提出、発議にこぎつ  
へいかいご しゅうういんかいさん そうせんきよ かいけんこくみんとうひょう ばあい どうじ  
け、その閉会後に衆院解散・総選挙と改憲国民投票を（場合によっては同時に）  
きょうこう ねら  
強行することを狙っています。

かいけん けつせん かんぜん まえだお こんしゅう だいけつせん あべ  
改憲をめぐる決戦は完全に前倒しになりました。今秋からが大決戦です。安倍  
ろうどうしゃじんみん いか ばくはつ てんぼう かいけんけつせん ひ  
は労働者人民の怒りの爆発によって、まったく展望のない改憲決戦へと引きずり

込まれているのです。

安倍は今すぐ監獄に送らなければなりません。都議選で「自衛隊としてもお願  
いする」と自衛隊員の自民党への投票を強制する発言をした防衛相・稻田朋美  
は、都議選後もぶざまな破綻をくりかえし、その本性をあらわにしています。

九州での豪雨被害で自衛隊が救助活動にあたっていた 7 月 6 日の昼、稻田  
は 1 時間以上防衛省を不在にしたことが問題になっています。九州豪雨の被  
害は、「地方消滅」の新自由主義がもたらした大災害です。稻田と安倍の本音  
は、戦争・改憲、大軍拡、軍隊と国家の私物化がすべてであり、自衛隊員も含め  
た人びとの生活や生命などどうなってもいいというものなのです。

安倍は 7 月 1 日、秋葉原で「安倍やめろ」コールを浴び、「こんな人たちに負  
けるわけにはいかない」と憎しみもあらわに〈国内戦の言葉〉を吐きました。反  
動勢力はインターネットで「7・1は共謀罪だ。弾圧せよ！」とわめいていま  
す。階級対立は今や完全に非和解的に激化しています。

7 月 11 日に施行された共謀罪との攻防、連合を先兵とした「働き方改革」  
= 労働法制大改悪との攻防、JR を先端とした全面的な分社化・外注化・転籍  
・非正規職化との大攻防は「戦争か革命か」をかけた 2018 年改憲決戦と完全  
に一体です。同時に行われる可能性もある衆院総選挙闘争も、重大な改憲決戦  
となります。革共同はすべての闘いを先頭で闘います。『前進』読者のすべ  
てのみなさん、2018 年改憲決戦に立ち上がりましょう！

デッチあげ弾圧うち破れ

ひやく だんあつ やぶ  
百パーセント無実であるにもかかわらず指名手配され、46 年も闘い、今も

「殺人罪」デッチあげの国家犯罪と完全黙秘・非転向で闘う大坂正明同志、獄中  
 42年を不屈に闘いぬく星野文昭同志は、2018年改憲決戦の先頭に立つかけ  
 がえのない同志です。大坂同志・星野同志が体現する70年安保・沖縄闘争の地平  
 で1千万人、とりわけ青年の怒りと結びつき、全人民の総決起で星野同志と大坂  
 同志を取り戻しましょう。

この「大坂同志とともに闘う」という決意と団結が今回の都議選闘争で巨大  
 な力を發揮しました。誇りを持ち胸を張って「自分は中核派です」「大坂さん  
 はかけがえのない同志です！」と生き生きと闘う労働者指導部が次々に生み出  
 されています。

大坂同志がデッチあげ起訴された6月28日、5人の弁護団が断固として立ち、  
 「無罪を確信している」と記者会見で述べました。これから星野再審闘争と結合  
 し、国家権力の犯罪を徹底的に暴く大裁判闘争が始まります。全港湾の日本海  
 地方本部が星野奪還・全証拠開示の署名を5401筆集めて届けてくれました  
 (『星野新聞』35号)。国家犯罪に怒る労働者階級、とりわけ青年を先頭に、デ  
 ッチあげ粉碎、星野同志・大坂同志奪還の全人民的な一大運動を今こそ巻き起こ  
 しましょう。7月14～15日の星野再審全国連絡会議総会の歴史的大成功は、そ  
 の新たな出発点です。

### JR分社化・転籍との闘い

7月23日の東北と関西での革共同政治集会、7月30日に東京で開かれる国  
 際連帯集会、さらに8・6広島～8・9長崎闘争、8・15改憲・戦争阻止集会  
 と続く闘いは、世界革命に向けた新たな挑戦の開始です。7・30集会は、日

かんろうどうしや れんたい じく あら  
韓労働者の連帯を軸に「新たなインターナショナル」の建設へ進む闘いです。

こつきょう こ ろうどうしや こくさいてき だんけつ かいけん ちようせんせんそう はば ちから  
国境を越えた労働者の国際的な団結こそが改憲と朝鮮戦争を阻む力です。

がつ にち し じょうはつ ひ せい き しょく う かんこく みんしゅろうそう に ほん  
6月 30 日に史上初の非正規職ゼネストを打ちぬいた韓国・民主労総に日本

でもゼネストで応えましょう。動労東京八潮支部の闘い、都営交通民営化との  
闘い、都庁レストランふくしま解雇弾劾の闘いを、30年の国鉄闘争の地平で闘  
い、東京にゼネストの拠点を次々と打ち立てよう。

がつここの か じげん こと ぜんめんぶんしや か がいちゅう か ていあん  
JRは6月9日、これまでとは次元を異にする全面分社化・外注化を提案し

てきました。転籍と非正規職化の攻撃です。JRは鉄道の運行にすら責任を取  
らない、純粋に金もうけを目的とする「持ち株会社」になろうとしています。

ほうかい あんぜん ほうかい ふ か ひ たたか どうろう ち ば  
すでに崩壊している安全がさらに崩壊するのは不可避です。これと闘う動労千葉

・動労水戸に続いて、動労総連合を全国につくっていきましょう。

ぜんさんべつ みんえい か がいちゅう か ひ せい き しょく か ぜったいはんたい たたか ろうどうくみあい  
さらに全産別に民営化・外注化・非正規職化と絶対反対で闘う労働組合を  
建設しよう。一人の労働者・人民の職場・地域での決起が決定的です。『前進』

かくだい ぶ き きよてん れんごう し はい う やぶ たたか お すす  
の拡大を武器に拠点をつくり、連合支配を打ち破る闘いを推し進めよう。

と ぎ せん みんしんとう だいはいぼく れんごう ほうかい ぶんれつ か そく れんごう いま  
都議選における民進党の大敗北は連合の崩壊と分裂を加速します。連合は今や  
「残業代ゼロ」をも容認する安倍の「働き方改革」の先兵です。安倍・小池の  
「働き方改革」との闘いは改憲決戦とも一体で連合支配を打ち破り、ゼネスト

ひ よ たたか  
を引き寄せる闘いです。

ぜんこく ふ じんみんしゅ ぜんこくきょう ぎ かい けんせつ ねん かくめい  
全國に婦人民主クラブ全国協議会を建設し、1917年ロシア革命のように  
じよせいろうどうしや かぞく かくめい さいせんとう おど で じよせいろうどうしや せんとう  
女性労働者と家族がゼネスト一革命の最先頭に躍り出よう。女性労働者が先頭に

た と ぎ せん ち へい はってん  
立った都議選の地平をさらに発展させよう。

さい ご たたか き そ ざいせい どくしや  
最後に、すべての闘いの基礎は財政にあります。すべての読者のみなさんに  
か き とうそう けつ き うつた  
夏期カンパ闘争への決起を訴えます。

## か き だい 夏期大カンパを

こ とし か き とうそう だいいち ほし の どう し おおさかどう し だっかん だい とう  
今年の夏期カンパ闘争は第一に、星野同志・大坂同志奪還のための大カンパ闘  
争です。

だい に しゅう かい ぜんしん はつこう つづ かね ひつよう てい き こうどく だいきん  
第二に、週 2 回『前進』発行を続けるためにもお金が必要です。定期購読の代金  
がその基礎となっています。購読とともにカンパの拠出をお願いします。

だいさん あ べ かいけんこうげき たたか ぜつたい しょう り かいけんこくみんとうひょう  
第三に、安倍の改憲攻撃との闘いに絶対に勝利するためです。改憲国民投票  
と同時に行 われる可能性もある衆院総選挙闘争を今から準備するために、と  
もに決起してください。

だいよん だんあつ ぜつたい ま ひ ごうほう ひ こうぜん ろうどうしゃとう けんせつ  
第四に、どんな弾圧にも絶対に負けない非合法・非公然の労働者党を建設する  
ために、大カンパ闘争を訴えます。大坂同志への 46 年の指名手配を打ち破って  
きた労働者階級の闘いをさらに発展させ、戦前の日本共産党をのりこえまし  
よう。

くさ しやかい こんてい かえ ひつよう じゅん び  
この腐りきった社会を根底からひっくり返すために必要な準備をしていきま  
しょう。中核派とともにプロレタリア革命を成し遂げましょう！